

令和6年度総合隣保館事業実施状況

1 総合隣保館運営委員会

| 回 | 開催日 | 審議内容 | 出席人数 |
|---|-------|--|------|
| 1 | 7月2日 | (1) 令和5年度総合隣保館利用状況について (2) 令和6年度総合隣保館事業計画について (3) 令和6年度総合隣保館文化祭について (4) 令和6人権フォーラムについて (5) その他 | 11人 |
| 2 | 3月14日 | (1) 令和6年度総合隣保館事業実施状況について (2) 令和6年度総合隣保館利用状況について (3) 令和6年度総合隣保館事業における成果と課題 (4) 令和7年度総合隣保館運営方針(案)について (5) 令和7年度総合隣保館事業計画(案)について (6) その他 | 8人 |

2 相談事業

地域住民の健康の増進と生活上の相談に応じるとともに、適切な指導・助言を行うことにより生活の社会的、経済的向上を図ることを目的として実施した。

相談事業の開催状況

| 区分 | 内容 | 人権相談の内訳(23件) | |
|-----------|--------|--------------|--|
| 隣保館職員 | ・人権相談 | 23件 | <ul style="list-style-type: none"> ・同和問題 ・女性 ・高齢者 ・子ども ・外国人 ・生活 ・障がい者 ・その他 |
| | ・福祉相談 | 0件 | |
| | ・教育相談 | 0件 | |
| | ・職業相談 | 0件 | |
| | ・生活相談 | 0件 | |
| | ・その他相談 | 0件 | |
| | 小計 | 23件 | |
| 商工会議所派遣職員 | ・経営相談 | 20件 | |
| | ・税務相談 | 18件 | |
| | ・金融相談 | 4件 | |
| | ・労働相談 | 0件 | |
| | ・経理相談 | 10件 | |
| | ・その他相談 | 1件 | |
| | 小計 | 53件 | |
| 計 | 76件 | | |

3 地域福祉事業

あらゆる人権問題の速やかな解決を図るため、地区(集会所)において福祉の増進、生活の向上をめざした事業を実施し住民の自立を支援した。

| 事業名 | 事業内容 | 実施回数 | 参加人数 |
|-----------------------|--------------------|------|------|
| 寄せ植え（吉田） （講師） 橋田富治 | 寄せ植えを作ろう（12月3日（火）） | 1回 | 11人 |

4 啓発広報活動事業

あらゆる人権問題に対する理解と認識を深め、その解決に資するため、自主的に研修する市民の集いとして、同和教育セミナー、人権フォーラム等各種講演会を開催するとともに、啓発広報活動として広報誌を発行した。

(1) 啓発活動事業

ア 同和教育セミナー

広く市民が同和問題を正しく理解し、同和問題解決のために必要な知識を得る研修の場として例年同様6月に3回実施した。

| 開催日 | 講師 | 参加人数 |
|-----------------------------------|---|------|
| 6月14日（金） 18:30～20:00 教育センター | 「インターネットに表出する実社会への人権問題」 公益財団法人反差別・人権研究所みえ 松村 元樹さん | 120人 |
| 6月21日（金） 18:30～20:00 青山公民館 | 「であいつながらり・差別解消をめざす北芝のまちづくり」 ～誰もが安心して住み続けられるまちへ～ NPO 法人暮らしづくりネットワーク北芝 埋橋 美帆さん | 75人 |
| 6月28日（金） 18:30～20:00 吉川町公民館 | 「性の多様性から『じぶん』について考える」 ～誰もが排除されない社会をめざして子どもたちとの出会いから見えてきたこと～ にじいろ i_Ru 田中一步さん、近藤孝子さん | 69人 |

イ 人権フォーラム

あらゆる人権問題について、身近な市民の方が想いや意見、体験を発表することにより、お互いにふれあいを図るとともに、認識を深めることで、市民の人権意識が高揚することを目的として実施した。

| 実施日 | 発表者 | 参加人数 |
|------------------------------|---|------|
| 10月15日（火） 18:30～ 総合隣保館 | 作文朗読「ぼくの兄ちゃん」 緑が丘小学校5年 井上煌琥さん 作文朗読「子どもと親の向き合い方」 別所中学校PTA 宮崎綾美さん 「日本が自分を変えたこと」 三木市国際交流協会 会員 平田平良ヴィニシウスさん 『つなぐ』ことでどの家庭も幸せに」 | 54人 |

| | | |
|-------------------------------|---|------|
| | 神和認定こども園 子ども子育て支援担当保育教諭 岩谷真由子さん | |
| 10月18日(金) 18:30～ 吉川町公民館 | 作文朗読「外国人だから・・・」 三木中学校3年 アチャリヤウパマさん 「主夫をして気づいたこと」 三木市社会教育委員 池田博文さん 「卵を採る為のニワトリについて」 兵庫県動物愛護推進員 倉田優子さん 「あと一回休んだら留年です」 三木市議会議員 戸田昌樹さん | 52人 |
| 10月22日(火) 18:30～ 総合隣保館 | 作文朗読「人とちがうことはおもしろい」 別所小学校6年 前田采音さん 「日本とラオスのちがい」 三木市国際交流協会 会員 プービエンブンナリーさん 「つながる・つながっていく」 ～杉の子学級から 志染小学校児童生徒支援教員 藤原美和さん 「何歳になっても自分らしくいきいきと暮らしていこう」 人権教育指導員 浦崎秀一さん | 64人 |
| 計 | | 170人 |

ウ 文化祭記念講演会等

12月の人権週間に実施する意義と大切さを伝える場として、また、あらゆる人権問題について感性に訴え、人権意識の普及、高揚を図ることを目的として実施する。本年度は、感染症対策を講じながら総合隣保館で開催した。

・記念講演

『私は部落から逃げてきた』

ジャーナリスト 西田 昌矢さん

エ 総合隣保館視察研修会（フィールドワーク）

同和問題をはじめとする人権問題について、知識と見識を深め人権感覚を磨く場として実施した。

| 開催日 | 行き先 | 出席人数 |
|------------------------|---|------|
| 10月5日(土) 8:15～17:15 | ・堺市舳松人権歴史資料館 *舳松の歴史や人権啓発運動について同館のガイドから説明を受けた。 *館周辺の主要ポイントで説明を聞きながらフィールドワークを行った。 | 21人 |
| 開催日 | 行き先 | 出席人数 |
| 1月11日(土) 9:00～13:30 | ・賀川記念館 同館の職員から賀川豊彦の業績と批判的検証についての講義を受け、その後、館内を見学した。 | 14人 |

オ 図書の充実と利用

- (ア) 貸出冊数 92 冊
- (イ) 貸出人数 55 人
- (ウ) 購入冊数 28 冊（一般 0 冊、子ども 28 冊）

(2) 広報活動事業

ア 隣保館だよりの発行

- (ア) 発行部数 毎月発行 5,000 部
- (イ) 配付先 市内全自治会（回覧等）、公共施設、各支部等

イ 啓発冊子「しあわせに生きる」の発行

- (ア) 発行部数 950 部（年 1 回）
- (イ) 配付先 各種団体代表、教育機関、公共施設、各支部等

5 教養文化及びその他に関する事業

地区住民の教養文化の向上と生活改善を図るとともに、周辺地域住民の参加により交流を促進することによって、人権・同和問題の解決を図った。令和 5 年度からエアロビクス講座を開始している。

(1) 教養文化講座

| | 教室名 | 実施回数 | 延べ参加人数 | 指導者 | 備考 |
|---|---------------|------|--------|---------------|-------|
| 1 | 手芸サークル | 15 回 | 63 人 | | 月 2 回 |
| 2 | 茶道教室 | 24 回 | 55 人 | 杉本 さわゑ | 月 2 回 |
| 3 | 書を楽しむきらきら書道教室 | 11 回 | 126 人 | 藤原 常貴 | 月 1 回 |
| 4 | エアロビクス講座 | 16 回 | 158 人 | 寺坂 恵美子 | 月 2 回 |
| 5 | スマートフォン体験講座 | 2 回 | 17 人 | スマートフォンアドバイザー | |
| 6 | 消費者トラブルセミナー | 1 回 | 16 人 | 消費生活センター相談員 | |
| | 計 | 62 回 | 435 人 | | |

(2) 生活講座及び教養文化講座関連事業

| 事業名 | 実施日 | 内容・講師 | 参加人数 |
|---------------|--------------------------|--------------------------|------|
| フラワーアレンジメント教室 | 10月31日(木) 18:30~20:30 | テーマ「秋の彩り」 (講師)田中 真紀 | 9人 |
| | 12月28日(土) 15:00~17:00 | テーマ「新春を生ける」 (講師)田中 真紀 | 9人 |
| | 2月28日(金) 18:30~20:30 | テーマ「お雛様」 (講師)田中 真紀 | 10人 |
| | 計 | | 29人 |

(3) 子ども教室

幼稚園児、小学生を対象にさまざまな体験をとおして、明るく、たくましく、やさしい心を育むことを目的に実施した。

ア 夏休み子ども教室

7月29日～8月25日（10日間）

| 教室名 | 実施回数 | 延べ参加人数 | 備考 |
|----------|------|--------|----|
| 夏休み子ども教室 | 10回 | 94人 | |

イ 子ども教室

物づくりに興味を持たせるとともに、体力づくり、知的好奇心の高揚、交流による仲間づくりをとおして人権感覚を培うために実施した。

| 教室名 | 実施回数 | 延べ参加人数 | 指導者 | 備考 |
|-------------|------|--------|-----|-----------|
| 土曜子ども教室 | 17回 | 99人 | 館職員 | 主に第2・4土曜日 |
| 交流ハイキング(予定) | 1回 | 10人 | 館職員 | 3月25日(火) |
| 計 | 18回 | 109人 | | |

(4) 総合隣保館文化祭

豊かな人間関係と人権を大切にする共生の社会を築き、共に人権文化を創造していくことを目的とし、多くの人々が人権と差別について学び、交流する文化の祭典として、本年度は、5年ぶりに記念講演をはじめ、飲食等の催物も再開し、ほぼコロナ禍前に行っていたすべての行事を実施した。

| 開催日 | 実施内容 | 出席人数 |
|---------------------------------|--|------|
| 12月8日(日) 9:30～15:30 総合隣保館 | 開会行事 記念講演 「私は部落から逃げてきた」 ジャーナリスト 西田 昌矢 さん 舞台発表 RASH:ダンス 教育事業あすなろ学級生:太鼓演奏 教育事業大空学級生:詩吟 ひまわりウインドアンサンブル:演奏 教育事業杉の子学級(杉の子座)・テアトロ三木 :人権劇 抽選会 受付で抽選番号を渡し、抽選箱から番号を取り出し抽選 1等～4等 催物 神戸地方法務局明石支局・明石人権擁護委員協議会 物品販売 みによんち 花の苗の販売 | 287人 |

| | | | |
|--|---|---|------|
| | じゃがいもの家 あしながあばさん 自由が丘空手同好会 ミラクル 実行委員会 RASH 〃 コスモスの会 ビギナー 教養文化講座（茶道教室） 広野小学校大空学級 | 物品販売 焼きそば販売 ポップコーン販売 するめのキムチ パン販売 ミニうどん、コロケ たこ焼販売、スーパーボール 山菜おこわ販売 コーヒー・ジュース販売 呈茶コーナー 花の苗の販売 | |
| 12月7日（土） ①13：30～15：00 ②18：00～20：00 総合隣保館 | ①子どもたち全員集合 ゲーム（輪投げ、シャトルダーツ、ボッチャ じんけんカードめぐり） | | 25人 |
| | ②前夜祭 DVD上映会「コーダ あいのうた」 | | 42人 |
| 12月4日（水）～ 12月8日（日） 9：00～21：00 （8日9：00～15：00） 総合隣保館 | ・隣保館関係団体等による作品展示 24団体が出展 | | 106人 |

6 社会調査（高齢者単独世帯への訪問活動）

地域の事情を的確に把握し、福祉の向上につなげるため、高齢者世帯への訪問・面談を実施している。今年度は、8月（一部）及び2月に実施した。実施状況等は別紙のとおり（別紙は当日にお渡しします。）

7 所蔵図書の整理について

館で所蔵している図書について、データベース化作業を実施している。すべての読み取り作業を終え、検索できるシステムの試作品を作成中。

8 その他

「転倒骨折予防教室」が10月から2月の間、毎週1回、全12回、総合隣保館で実施された。

| 令和6年度 総合隣保館利用状況 (令和7年2月28日現在) 【回数(回)、人数(人)】 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|
| 月 | 主催事業 | | | | 志染保育所 | | | | その他 | | | | 合計 | | | |
| | 令和6年度 | | 令和5年度 | | 令和6年度 | | 令和5年度 | | 令和6年度 | | 令和5年度 | | 令和6年度 | | 令和5年度 | |
| | 回数 | 人数 | 回数 | 人数 |
| 4月 | 16 | 131 | 8 | 98 | 10 | 460 | 7 | 280 | 22 | 355 | 17 | 262 | 48 | 946 | 32 | 640 |
| 5月 | 15 | 236 | 12 | 137 | 7 | 520 | 10 | 392 | 24 | 355 | 17 | 246 | 46 | 1,111 | 39 | 775 |
| 6月 | 22 | 158 | 23 | 236 | 14 | 665 | 7 | 326 | 24 | 335 | 17 | 244 | 60 | 1,158 | 47 | 806 |
| 7月 | 24 | 302 | 11 | 99 | 7 | 220 | 4 | 360 | 25 | 420 | 33 | 520 | 56 | 942 | 48 | 979 |
| 8月 | 24 | 254 | 18 | 250 | 6 | 346 | 15 | 670 | 12 | 130 | 20 | 281 | 42 | 730 | 53 | 1,201 |
| 9月 | 23 | 164 | 12 | 167 | 18 | 1,440 | 17 | 1,385 | 21 | 285 | 26 | 330 | 62 | 1,889 | 55 | 1,882 |
| 10月 | 21 | 337 | 17 | 285 | 16 | 1,127 | 8 | 441 | 37 | 457 | 20 | 317 | 74 | 1,921 | 45 | 1,043 |
| 11月 | 36 | 309 | 34 | 296 | 21 | 1,160 | 26 | 1,054 | 39 | 501 | 37 | 586 | 96 | 1,970 | 97 | 1,936 |
| 12月 | 16 | 135 | 9 | 100 | 17 | 1,160 | 21 | 1,329 | 23 | 254 | 17 | 345 | 56 | 1,549 | 47 | 1,774 |
| 1月 | 23 | 112 | 10 | 98 | 12 | 680 | 20 | 829 | 26 | 397 | 25 | 377 | 61 | 1,189 | 55 | 1,304 |
| 2月 | 19 | 141 | 12 | 97 | 25 | 1,665 | 35 | 1,550 | 25 | 479 | 31 | 492 | 69 | 2,285 | 78 | 2,139 |
| 3月 | | | 18 | 194 | | | 31 | 1,068 | | | 22 | 450 | | | 71 | 1,712 |
| 合計 | 239 | 2,279 | 184 | 2,057 | 153 | 9,443 | 201 | 9,684 | 278 | 3,968 | 282 | 4,450 | 670 | 15,690 | 667 | 16,191 |

令和6年度総合隣保館事業の成果と課題

1 総合隣保館運営委員会

○成果

会議で活発な意見交換を行うことができ、意見に基づき、文化祭における飲食を含む催物を5年ぶりに開催し、同和教育セミナーを青山公民館と吉川町公民館でも開催した。また、講演の講師についての人選も提言いただいた。

●課題

少子高齢化が進む中、魅力ある隣保館づくりに取り組む上で引き続き運営委員会での活発な意見交換が欠かせないと考える。

2 相談事業

○成果

相談者のニーズに対して真摯に応えることができ、「わかっていたいただいてありがたい。相談してよかった」等の言葉をいただいている。相談者は満足されている様子が伺えた。

●課題

多様化する人権相談に対応するために相談員のスキルを高めることが必要。隣保事業士の研修を積極的に受けるとともに課内人権研修に力をいれて相談体制のさらなる充実を図る。館職員と来館者が交流を深め、困った時には、いつでも気軽に相談ができるような雰囲気づくりを心がけることが重要である。人権相談を利用したい方が利用できなっていない可能性があることから、広く周知するように努める。

3 地域福祉事業

○成果

生活のさらなる向上及び福祉の推進のための事業を一部地域で実施することができた。

●課題

地域の高齢化や少子化に伴い地域福祉事業が実施できていない地域もある。そのため、地元と協議し、地域交流や世代間交流も考えながら、事業をどう進めていくかを検討する必要がある。

4 啓発広報活動事業

○成果

同和教育問題をはじめあらゆる人権問題に対する理解と認識を深め、その解決をめざして同和教育セミナー、人権フォーラム等を開催した。参加者からの感想は、とても心に響いた、人権の大切さをあらためて

学べた、フォーラムの発表者に対して敬意を覚えた、これからも学び続けたい等ほとんどが前向きな意見であった。

文化祭は、今年度は飲食を含む催物もおおよそコロナ禍前の規模で開催することができた。

視察研修（フィールドワーク）は、人権問題にかかわる現地に赴くことにより、より鮮明に差別の歴史や実態等を身近に感じ学習できたと思われ、学びを深めるよい機会となった。

隣保館だより等の記事に反響があり、市民から感想が寄せられるなど啓発の効果があらわれている。また、情報誌としての役割も果たしている。

●課題

引き続き、市民を巻き込みながら、同和教育セミナー、人権フォーラム、文化祭記念講演会等の学びの場の提供を積極的に行い、「人権尊重のまちづくり」のための啓発拠点として活動の強化を図る必要がある。その中で同和教育セミナー、人権フォーラムの参加者が前年度より減になっているため、よりいっそう周知、PRに努めていく。

5 教養文化及びその他に関する事業

○成果

地域住民のつながりを創出することができている。子ども教室は、さまざまな体験をとおして、交流による仲間づくりができた。また、3月26日には「消費者トラブルセミナー」を実施する予定である。

●課題

少子高齢化により、主催講座の講師高齢化及び参加者が減少傾向となっている。今後、さらに新たな講座の企画、人材の確保等、検討が必要である。

6 社会調査(高齢者単独世帯への訪問活動)

○成果

本年度も高齢者世帯等への訪問を行った。関係機関と連携を図りながら実施し、生活状況等の把握に努めた。

●課題

今後も引き続き訪問活動を実施していき、ニーズの把握に努めていくことが大切である

7 所蔵図書の整理について

○成果

隣保館の人権関係の図書は充実しているが、多くの来館者の希望に沿えるよう、毎年中央図書館より図書（一般書、絵本等）を借用し、

閲覧、貸出できるようにしている。また、夏休みの課題図書を購入し貸出を行うので、子どもの利用促進にもつながっている。

館で所蔵している図書のデータベース化作業が完了している。

●課題

データベース化の完了に伴い、コンピューターでの本の検索や管理を行うシステムを試作している途中である。

8 まとめ

本年度は文化祭において、感染症対策を講じながら5年ぶりに飲食の提供を実施し、参加者が昨年度より約100名増えた。

同和問題をはじめ、あらゆる人権問題に関する誹謗中傷や差別に対して、決して、同調や傍観するのではなく、許さないと、差別に立ち向かう正しい力を身につけるために、引き続き、市民を巻き込みながら、人権を守るために積極的な情報発信が重要である。

令和7年度総合隣保館運営方針（案）

総合隣保館の運営は、厚生労働省の隣保館設置運営要綱及び「部落差別の解消の推進に関する法律」「三木市人権尊重のまちづくり条例」「三木市人権尊重のまちづくりに向けた意識実態調査」及び総合隣保館活性化構想に基づき、以下の方針で事業を推進する。

- 1 我が国固有の人権問題である同和問題を基軸として、女性/ジェンダー、子ども、高齢者、障がい者、外国人などさまざまな人権問題に取り組み、人権や社会福祉制度に関する幅広い知識の習得や情報の収集・発信を積極的に行う。
- 2 「人権尊重のまちづくり」の視点から、地域における人権の課題、生活上の課題を解決するための取組を推進する。
- 3 あらゆる差別解消への展望に立った啓発を隣保館運営委員会をはじめ各関係機関と連携して推進する。
- 4 「部落差別の解消の推進に関する法律」について
 - (1) 第4条（相談体制の充実）の趣旨を踏まえ、総合隣保館の主事業である相談事業を人権、福祉、保健、経営、職業等生活全般にわたり更なる充実を図る。
 - (2) 総合隣保館の設置の趣旨を踏まえて、「人権尊重のまちづくり」のための啓発拠点として活動の強化・充実を図る。
- 5 社会調査研究については、高齢者世帯等への訪問・面談調査を実施し、実情を把握したうえで、関係機関と調整を図りながら生活の改善を図る。
- 6 地域住民の参加に支えられた人権にかかわるコミュニティーセンターとして、地域活動を推進するとともに、地域住民の交流活動を促進する。
- 7 誰もが取り残されない、すべての住民が健康で文化的な生活を送ることができるように、ソーシャルインクルージョンの視点を持ち、人権と福祉のまちづくりをめざす。

令和7年度総合隣保館事業計画（案）

1 総合隣保館運営委員会

隣保館の運営方針及び主要な事業の企画等、館の適正かつ円滑な運営を図るため開催する。

| 回 | 開催日 | 内 容 |
|---|----------------|---------------------------------------|
| 1 | 6月中旬～ 7月初旬頃 | ・令和6年度事業実施結果について ・令和7年度事業計画について |
| 2 | 12月頃 | ・上期の事業実施状況について ・第42回総合隣保館文化祭について |
| 3 | 3月 | ・令和7年度事業実施状況について ・令和8年度事業計画(案)について |

2 相談事業

地域住民に対し生活上の相談に応じるとともに、適切な指導助言を行う。

| 相談名 | 相談日 | 時間 |
|------|---------|-----------|
| 人権相談 | 随時 | 8時30分～17時 |
| 経営相談 | 毎週火・金曜日 | 10時～16時 |
| 職業相談 | 随時 | 8時30分～17時 |
| 教育相談 | 〃 | 〃 |
| 生活相談 | 〃 | 〃 |
| その他 | 〃 | 〃 |

3 地域福祉事業

地区住民の課題を把握し、地区住民の福祉の増進、生活の向上を図る取組を推進する。

4 啓発・広報活動事業

あらゆる人権問題の解決をとおして、お互いの人権を尊重し合える社会の実現に向けて以下の啓発・広報活動を実施する。

(1) 啓発活動

ア 同和教育セミナー

6月20日（金）19:00～20:30（開催時間を変更しています） 教育センター

6月27日（金）19:00～20:30（開催時間を変更しています） 青山公民館

7月4日（金）19:00～20:30（開催時間を変更しています） 吉川町公民館

講師候補者

1 北川真児（一般社団法人ひょうご部落解放・人権研究所研究員）

2 金秀煥（キム スァン）（ウトロ平和祈念館副館長）

3 大原和子（堺市市立人権ふれあいセンター館長）

イ 人権フォーラム

人権問題の解決を自らの生き方に密着したものであるとの認識に立ち自主的に研修する市民の集いとして実施する。

意見発表

- 10月21日(火) 19:00～20:30(開催時間を変更しています) 総合隣保館
10月24日(金) 19:00～20:30(開催時間を変更しています) 吉川町公民館
10月28日(火) 19:00～20:30(開催時間を変更しています) 総合隣保館
内 容 1回に3人～4人の発表

ウ 文化祭記念講演会

12月の人権週間に実施する意義と大切さを伝える場として、また、あらゆる人権問題を感性に訴え、人権意識の普及、高揚を図ることを目的として、文化祭において実施する。

記念講演会

- 期 日 令和7年12月7日(日)
講 師 奥田 均(近畿大学名誉教授、博士(社会学))

エ 館外視察研修・フィールドワーク

同和問題をはじめとする人権問題について、知識と見識を深め人権感覚を磨く機会として実施する。

① 館外視察研修(案)

- 期 日 令和7年9月または10月予定
場 所 北淡震災記念公園(野島断層保存館)

② フィールドワーク

- 期 日 令和8年1、2月頃予定
場 所 未定

(2) 広報活動

隣保館だよりの発行

発行部数 毎月5,000部

配布先 市内全自治会(回覧)、公共施設、各支部等

5 教養文化及びその他に関する事業

地区住民の教養文化の向上と生活改善を図るとともに、周辺地域住民の参加により交流を促進することによって、人権・同和問題の解決を図る。

(1) 教養文化講座

| NO | 教室名 | 講 師 | 開催曜日 | 時間帯 |
|----|----------|-------|-----------|--------|
| 1 | 手芸サークル | | 毎月第2・4木曜日 | 13:30～ |
| 2 | 茶道教室 | 杉本さわゑ | 不定期 | 不定期 |
| 3 | きらきら書道 | 藤原常貴 | 毎月第3土曜日 | 13:00～ |
| 4 | エアロビクス講座 | 寺坂恵美子 | 毎月第2・4月曜日 | 10:00～ |

(2) 生活講座及び教養文化講座関連事業

フラワーアレンジメント教室（年3回予定）

期 日 令和7年10月、12月、8年2月

場 所 総合隣保館

その他 スマホ体験講座等

(3) 子ども教室

幼稚園児、小学校を対象にさまざまな体験をとおして、明るく、たくましく、やさしい心を育むことを目的に実施する。

① 夏休み子ども教室

夏休みの期間中、園児及び児童（小学生）を中心に、夏休み中の生活をリズムカルに楽しく、充実したものにする。

② 土曜子ども教室

ものづくりに興味を持たせるとともに、体力づくり、知的好奇心の高揚、交流による仲間づくりをとおして人権感覚を培う。

③ 子ども教室ハイキング

子ども教室に参加している子どもたちの仲間づくりを図る。

(4) 総合隣保館文化祭

豊かな人間関係と人権を大切にする共生の社会を築き、共に人権文化を創造していくことを目的とし、多くの市民が人権と差別について学び、交流する文化の祭典として人権週間の期間中に開催する。

開催にあたっては、運営委員会で内容を立案し、実行委員会で協議する。

期 日 令和7年12月6日（土）・7日（日）（予定）

6 社会調査（高齢者単独世帯への訪問活動）

地域の実情を的確に把握し、福祉の向上につなげるため、高齢者世帯等への訪問・面談を実施する。

7 所蔵図書の整理について

館で所蔵している図書資料についてデータベース化し、検索を容易にする。現在、検索方法について試作品を研究している。